

伝承の力

古典の現在いま

五段砧

箏(高音) 藤本昭子
箏(低音) 伊藤松超
尺八 藤原道山

七小町

歌・三弦 藤本昭子
歌・箏 平野裕子
尺八 田辺頌山

夕邊の雲

歌・三弦 藤本昭子
尺八 善養寺恵介

2024年

10|4 ⑤ 18:30開演(18:00開場)
紀尾井小ホール

- 入場料: 5,000円(完全予約制・全指定席)(学生券3,000円)
- お問合せ・チケット申込み
藤本昭子の会 email: akikof@tc4.so-net.ne.jp
電話: 03-3716-6716 fax: 03-3716-2110
- 後援: 公益財団法人日本伝統文化振興財団



主催

藤本昭子の会

「伝承の力 古典の現在」は、地歌箏曲の古典ならでの演奏技法を未来に伝えたいという切なる願いを込めてスタートしたシリーズ公演です。

本年は、一月二十七日静岡音楽館A O Iでの「地方公演」、四月七日紀尾井小ホールでの「地歌箏曲の未来を担う若い世代の方々との公演」に続き、今回、自身の「リサイタル公演」を開催することとなりました。

それぞれ異なるこの三つの方向性を通じて、現代に於いても決して色褪せることのない古典ならではの魅力を支える「伝承の力」と、未来に向けた指標であり座標ともなる「古典の現在」を三年間にわたって掘り下げて参りました。

今回は三曲界を第一線で牽引する助演者の皆様とともに、私自身の現在をお聴き取り頂きたく存じます。

皆様にはご多用の折と存じますが、是非ご来場下さいまして、忌憚ないご批評を賜りたく謹んでお願い申し上げます。



藤本昭子 (ふじもと あきこ)

祖母阿部桂子、母藤井久仁江(人間国宝)に師。三弦を師事。1995年第一回りサイタル開催(全17回開催)。2001年伝統の継承と古典の新たな可能性を追求する場として「地歌ライブ」開始(全100回開催)。03年日本伝統文化振興財団賞受賞、CD制作。04年文化庁芸術祭新人賞受賞。08年伝統文化ポータル賞奨励賞受賞。11年芸術選奨文部科学大臣賞新人賞受賞。19年高橋翠秋、鶴澤津賀寿、善養寺恵介と「S A T Z」結成。20年CD「雪墨」発売。YouTubeチャンネルを開設。21年「第17回藤本昭子演奏会」が文化庁芸術祭音楽部門大賞、企画・制作主演CD「雪墨」がレコード部門大賞を同時受賞。芸術選奨文部科学大臣賞、松尾芸能賞優秀賞受賞。CD「地歌のいろは」は、「百年の時を超えて甦る幻の音色」。「第十七回藤本昭子演奏会」(残月・八重衣)を連続発売。紫綬褒章受賞。22年CD「地歌のいろは」が文化庁芸術祭レコード部門大賞を2年連続受賞。新たなシリーズ演奏会「伝承の力 古典の現在」を開始、以降8回開催。現在、九州系地歌箏曲家として演奏会・放送等に出演の後進の指導に当たっている。(公財)日本伝統文化振興財団理事。(公社)日本三曲協会 箏曲女流協会 会員。正派音楽院講師。藤本昭子の会 代表。



伊藤松超 (いとう しゅうちょう)

幼少より、祖父山田流箏曲伊藤派家元初代伊藤松超、父二代松超、母美恵子に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。卒業後鳥居名美野師に師事。在学中両親先輩らと邦楽グループ「たまらば玉響」を結成。全国各地でコンサートを開催。同大学院音楽研究科修士課程修了。23年邦楽技能者育成会第四十期卒業。アメリカ五都市公演。ロシアモスクワ音楽院にて公演。父逝去し三代松超を襲名。翌年第一回りサイタルを開催。現在(公社)日本三曲協合理事。山田流箏曲協合理事。箏曲武声会会長。箏曲新潮会、四十騎会、翔の会同人。学習院大学三曲研究会幹事。講師。



藤原道山 (ふじわら どうざん)

東京藝術大学卒業。大学院音楽研究科修了。安宅賞。芸術選奨文部科学大臣賞。松尾芸能賞新人賞。服部真二音楽賞ほか受賞。伝統音楽の活動と共に、尺八の可能性を求め様々な音楽を追求。ソロ活動の他、音楽制作や監修。妹尾武(ビアン)、古川展生(チェロ)との「K O B U D O」古武道などの洋楽器とのユニット。尺八アンサンブル「風雅竹韻」の監修、メディア出演、邦楽ジャーナルにて連載など多角的な活動を展開。小学及び中学音楽教科書(教育芸術社)の執筆及び出演。後進の育成など普及教育活動にも力を注ぐ。現在、公益財団法人山田流尺八楽会所属。竹琳軒大師。都山流道山会主宰。東京藝術大学音楽学部准教授。https://www.dozan.jp



平野裕子 (ひらの ひろこ)

生田流箏曲を古屋富蔵、古屋靖枝に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。在学中、上木康江師、矢崎明子師、藤井久仁江師、砂崎知子師、芦垣美穂師に師事。在学中、宮城賞を受賞。同大学修士課程修了。高橋短期音楽会非常勤講師を務める。国際交流基金助成海外公演に参加するなど演奏会出演の他、NHK FM放送。邦楽のひととき出演。CD録音に参加するなど、古典曲から新作まで幅広く活動している。小中学校において邦楽鑑賞会・箏奏の授業を行い、邦楽普及にも努めている。公益財団法人日本三曲協合理事。山田流協会常任理事。藤の会。狛江市三曲協会 会員。東京藝術大学非常勤講師。生田流流友会 会長。



田辺頌山 (たなべ しょうざん)

小学生の頃より父、恵山に手ほどきを受け、早稲田大学入学と同時に初代山本邦山人間国宝に師事。ローマ法皇ヨハネパウル二世、謁見演奏。カーネギーホール公演をはじめ海外での演奏も多く、様々なジャンルの国内外の演奏家と共演し好評を博す。中学校教科書指導書「中学音楽 音楽のおくりもの」教育出版の作成に協力。東京藝術大学非常勤講師を務める。都山流尺八楽会竹琳軒大師。ステーション、録音指導活動に「とめ、尺八本来の持ち味を大切に、ジャンルにとらわれない幅広い活動を行なっている。長谷校校記念第一回全国邦楽コンクール(1993)で最優秀賞を受賞。CD「静かなる時」 Voyage Den 3「音古風をリリース」。



善養寺恵介 (ぜんようじ けいすけ)

東京藝術大学邦楽科卒業。同大学院修士課程修了。同大学任事中は山口五郎師(人間国宝)に師事。2000年、尺八教則本「はじめての尺八」音楽之友社刊。2002年、日本伝統文化振興財団賞受賞。2006年、箏山田流の山登松和氏と共に古典ユニット「ZEN YAMA TO」結成。2007年のリサイタルでは文化庁芸術祭大賞を受賞。2018年、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。2019年、胡弓の高橋翠秋氏地歌の藤本昭子氏、義太夫三味線の鶴澤津賀寿氏と共に、古典立脚による新たな邦楽創造ユニット「S A T Z」結成。2020年、紫綬褒章を受賞。古典を中心とした演奏活動のほか、関東各地にて尺八普及のための尺八教授活動を行っている。公式web site https://zenyoji.jp/